

## 令和2年度県立海洋高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相当数の生徒が水産・海洋関連企業及び大学等への就職・進学をしており、地域産業の担い手育成に貢献していると思う。</li> <li>・教職員の創意工夫が教育活動に反映し、学校生活や学習活動の満足度が向上していることが、生徒アンケートで窺える。</li> </ul>
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生全員の進路先が決定したことは、本校の専門性に対する社会の要望や期待が不変であることの証であろう。</li> <li>・今後も、地域に信頼される地域産業の担い手育成をお願いしたい。</li> <li>・生徒によるアンケートの結果からも、自宅での学習が多少不足していると思う。基礎学力のもう一段の向上を期待する。</li> </ul>
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input type="radio"/> A 十分把握している <input checked="" type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営全体を学科や各教科指導、生徒指導、進路指導等、それぞれの視点から捉え見直している。学年、教科、領域間の情報連携が図られ、それぞれに実りある対応ができるよう期待する。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症により、多くの活動が制限・中止に追い込まれる中、きちんと進路が確定しており学校の努力が窺える。</li> </ul>
4. 学校の改善方策への対応は適切か	<input type="radio"/> A 適切である <input checked="" type="radio"/> B おおむね適切である <input type="radio"/> C あまり適切でない <input type="radio"/> D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者ともおおむね学校生活に満足しているようで、様々な活動の継続を望む。</li> <li>・コロナ禍の中、進路決定の際などのリモートによる対応の必要性和教職員の研修について十分に認識していることが窺える。対応力の向上については、計画的に継続して取り組むよう期待する。</li> </ul>
5. その他（各学校の状況に応じて設定）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんプロについて。今年度は実施できなかったが、中学生の期待は大きい。これをきっかけに将来の進路を考える生徒がおり、ずっと継続する事業であってほしい。</li> </ul>

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。